BIM/CIM適用業務試行要領

１．BIM/CIM適用業務の実施方法

以下に基づき、３次元モデルを活用する。

１．１ BIM/CIM実施計画書

３次元モデルの活用について、受発注者間で協議し、以下の内容を記載する。

１）　３次元モデルの活用内容（実施内容、期待する効果等）

２）　３次元モデルの作成仕様（作成範囲、詳細度、属性情報、別業務等で作成された３次元モデルの使用等）

３）　３次元モデルの作成に用いるソフトウェア、オリジナルデータの種類

４）　３次元モデルの作成担当者

５）　３次元モデルの作成・活用に要する費用

１．２ BIM/CIM実施報告書

BIM/CIM実施計画書に基づく３次元モデルの活用について、以下の内容を記載する。

１）　３次元モデルの活用概要（実施概要、期待する効果の結果等、期待した効果が十分に得られなかった場合の考察を含む）

２）　作成・活用した３次元モデル（作成範囲、詳細度、属性情報、基準点の情報等）

３）　後段階への引継事項（対応する無償ビューワーの種類、２次元図面との整合に関する情報、活用時の注意点等）

４）成果物

５）その他（創意工夫内容、基準要領に関する改善提案・意見・要望、ソフトウェアへの技術開発提案事項等）

１．３ BIM/CIM適用業務の確認

発注者は、受注者が３次元モデルを作成・活用するにあたって、以下の内容を確認する。

１）　３次元モデルの作成内容の確認

・ 測地系、単位系が正しく設定されているか

・ 構造物等が正しい位置に配置されているか

・ 無償ビューワーで３次元モデルを閲覧可能か

・ BIM/CIM実施計画書で示した３次元モデルが作成されているか

２）　実施報告書の記載内容の確認

・ 実施概要、効果の結果等が記載されているか

・ 引継事項が記載されているか（対応する無償ビューワーの種類、活用時の注意点等）

・ ２次元図面と３次元モデルの整合に関する情報が記載されているか

３）　電子成果品の納品内容の確認

・ 各電子納品要領（※）に基づきBIMCIMフォルダが作成されているか

* 基本的には埼玉県の電子納品要領に基づき成果品を作成するが、BIM/CIMに関しては国の電子納品要領に基づき成果品を作成する。

・ 納品された３次元モデルは、オリジナルデータの他、IFC又は J-LandXMLのデータ形式で格納されているか

２．BIM/CIM適用業務の発注方法

BIM/CIM適用業務については、入札公告、入札説明書、特記仕様書等に明記する。

なお、BIM/CIM適用業務は、以下の発注方式を標準とする。

２．１発注者指定型

発注者の指定により３次元モデルの活用を行う方式である。

詳細設計業務については、原則として義務項目を活用するものとし、発注者指定型を適用する。

また、推奨項目を発注者の指定により実施する場合も、発注者指定型を適用する。

なお、発注者指定型であっても、受注者からの提案により活用内容を追加することを積極的に検討されたい。

２．２受注者希望型

契約後において、受注者から３次元モデルの活用希望があった場合に、３次元モデルの活用を行う方式である。

発注者指定型を適用するものを除き、全ての業務で受注者希望型を適用する。

３．業務費の積算

BIM/CIM適用業務による費用は、見積を徴収して積算するものとする。活用内容の詳細が受注者との協議により決定すること及び３次元モデルの作成に要する作業が標準化の途上であることを鑑み、契約後に受注者からの見積により契約変更で対応する。

また、受注者からの提案を積極的に受け入れ、活用することを基本としているが、発注者が費用負担する場合は、発注者が活用効果等を確認のうえ必要と判断したものに限ることに留意する。

４．入札公告等の記載例

入札公告、入札説明書（業務説明書）、特記仕様書等に以下の記載例を参考に記載する。

【入札公告】（記載例）

「１ 業務概要」に以下を記載する。

（番号）本業務は、BIM/CIM適用業務（発注者指定型／受注者希望型）である。

【入札説明書（業務説明書）】（記載例）

「（番号）業務の実施形態」に以下を記載する。

（番号）本業務は、BIM/CIM適用業務（発注者指定型／受注者希望型）である。詳細については、特記仕様書による。

【特記仕様書】（記載例）

第○○条 BIM/CIM適用業務について

本業務は、BIM/CIM適用業務（発注者指定型／受注者希望型）である。

【発注者指定型の場合】

以下に示す活用内容について、３次元モデルを作成し、活用する。詳細については、受発注者間で協議し、１～３により実施する。

受注者が希望する場合、発注者が示す活用内容以外の活用内容を提案することができる。

BIM/CIM適用業務に要する費用については、当初は計上していない。受発注者間の協議に基づき、設計変更を行うものとする。

（義務項目の例）

|  |  |
| --- | --- |
| 活用内容 | 活用内容の詳細 |
| 出来上がり全体イメージの確認 | 出来上がりの完成形状を３次元モデルで視覚化することで、関係者で全体イメージの共有を図る。  （例）本業務では、R5年10月頃の電力会社との近接協議において、使用することを想定している。 |
| 特定部の確認  （２次元図面の確認補助） | ２次元では表現が難しい箇所を３次元モデルで視覚化することで、関係者の理解促進や２次元図面の精度向上を図る。  （例）本業務では、場内整備は、本体構造物や他職種との取合いを確認する。 |

（推奨項目の例）

|  |  |
| --- | --- |
| 活用内容 | 活用内容の詳細 |
| 重ね合わせによる確認 | ３次元モデルに複数の情報を重ね合わせて表示することにより、位置関係にずれ、干渉等がないか等を確認する。  （例）本業務では、設備の３次元モデルと既存施設の点群データを重ねて配置を確認する。 |
| 現場条件の確認 | ３次元モデルに建機等を配置し、近接物の干渉等、施工に支障がないか確認する。  （例）本業務では、建機の搬出入経路及び旋回範囲を確認する。 |
| 施工ステップの確認 | 一連の施工工程のステップごとの３次元モデルで施工可能かどうかを確認する。  （例）本業務では、掘削、土留め設置・撤去、沈砂池増築等のポンプ場の新設に関する一連の施工ステップを確認する。 |
| 事業計画の検討 | ３次元モデルで複数の設計案を作成し、最適な事業計画を検討する。  （例）本業務では、業務範囲内の設計全体を検討する。 |

（参考）３次元モデル作成の目安

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 詳細度 | ２００～３００程度※1  ※1 構造形式がわかるモデル～主構造の形状がわかるモデル | 指定方法の例  本業務で作成する３次元モデルに必要とする詳細度は300とする。但し、設計対象に含まれない周辺部材や構造物については200とする。詳細は、受発注者間協議の上、決定する。 |
| 属性情報※2  ※2 部材等の名称、規格、仕様等の情報 | オブジェクト分類名※3 のみ入力し、その他は任意とする。  ※3 下水道事業の手引きに記載されている中分類単位 | 指定方法の例  属性情報は、後段階である工事や維持管理での活用が期待できるものを付与する。具体的な属性情報や付与方法は、受発注者間協議の上、決定する。 |

【受注者希望型の場合】

受注者が希望する場合、３次元モデルの活用を提案することができる。詳細については、受発注者で協議し、１～３により実施する。

【発注者指定型／受注者希望型 共通】

１ BIM/CIM実施計画書の作成

３次元モデルの活用について、以下の内容を受発注者間で協議し、BIM/CIM実施計画書を作成する。内容に変更が生じた場合は、受発注者間で協議し、BIM/CIM実施（変更）計画書を作成する。

また、作成したBIM/CIM実施計画書（変更含む）に基づき、本業務を実施する。

１）　３次元モデルの活用内容（実施内容、期待する効果等）

２）　３次元モデルの作成仕様（作成範囲、詳細度、属性情報、別業務等で作成された３次元モデルの使用等）

３）　３次元モデルの作成に用いるソフトウェア、オリジナルデータの種類

４）　３次元モデルの作成担当者

５）　３次元モデルの作成・活用に要する費用

２ BIM/CIM実施報告書の作成

BIM/CIM実施計画書に基づく３次元モデルの活用について、以下の内容を記載したBIM/CIM実施報告書を作成する。

１）　３次元モデルの活用概要（実施概要、期待する効果の結果等、期待した効果が十分に得られなかった場合の考察を含む）

２）　作成・活用した３次元モデル（作成範囲、詳細度、属性情報、基準点の情報等）

３）　後段階への引継事項（対応する無償ビューワーの種類、２次元図面との整合に関する情報、活用時の注意点等）

４）　成果物

５）　その他（創意工夫内容、基準要領に関する改善提案・意見・要望、ソフトウェアへの技術開発提案事項等）

３ 成果の納品

BIM/CIM実施計画書（変更含む）、BIM/CIM実施報告書及び作成した３次元モデルを納品する。

【関連する業務等がある場合に記載する】

４ 貸与資料

本業務に関連する以下の業務等において作成した３次元モデルのデータを貸与することができる。

・ R2○○業務

・ R3○○業務